

福祉サービス第三者評価結果

①第三者評価機関名

合同会社福祉経営情報サービス

②事業者情報

名称：	ライフベースさやま	種別：	短期入所
代表者氏名：	菊義樹	定員(利用人数)：	18 名
所在地：	〒 350-1302 埼玉県狭山市東三ツ木351-15 Tel 04-2935-3287		

③評価実施期間

令和6年11月1日（契約日）～令和7年1月25日（評価結果確定日）

④総評

◇特に評価の高い点

○職員の支援により家族的な支援をちょうどよい距離間で支援している

施設全体から和やかで明るい雰囲気が醸し出されている。スタッフの利用者に対する一つひとつの関わりはとても丁寧である。訪問調査日の視察では散歩に出かけるときや昼食の支援の際など、利用者に対する温かい言葉がけや、気持ちに配慮した優しい支援が随所に見られた。関わりや言葉がけからは利用者の気持ちや想いを大切に支援していることが窺われた。嬉しそうに食事をとる姿や利用者同士の和やかな様子からは利用者の気持ちが安定し、施設での生活に満足していることが推察された。

○利用者個々が自由にのびのびと過ごせる環境を大切に考え、利用者の希望に極力応じている

広い共有スペースや個室でのびのびと過ごすことができ、利用者一人ひとりが自由に過ごせる環境を大切にしている。日々の生活の中では利用者の希望や要望には極力応じて外出や外食に出かけている。食事では週3回の「手作りデー」を設定し、食材にもこだわり提供している。利用者の声を献立に反映し、フライの日やパンの日、麺の日など毎週設定して、要望や嗜好を踏まえた食の楽しみを提供し利用者に大変喜ばれている。そのほか、会長が月に一度食事を振る舞う「会長デー」の時には、利用者が食べたいものを伝えてそれに応えている、今回の利用者調査でも手作りデーや会長デーのメニューは利用者から複数の好評価があり、生活の中での楽しみとなっている様子であった。

○研修体制の構築に取り組んでおり、成果が生まれている

今年度は職員研修の体制を刷新し、事業所としての研修体系の構築に取り組んでいる。動画研修のクラウドサービスを導入し、新人、若手、管理者、事務員など階層別、職種別の研修を実施しており、次年度には研修体系を確立できる見込みである。動画研修を取り入れたことにより、支援員の意識や支援スキルも向上し支援の質も高まっており、既に効果も生じている。

◇特にコメントを要する点

○人材育成の体制づくりをさらに推進していくことが期待される

人材育成面では研修体制を整備中であり、運用により既に成果も見られている。人材育成の仕組みはサービスを支えるコアの部分となるため、研修体制が整備されたことを機会として、キャリアパスを組織として策定し、長期的な人材育成や次の管理者を育成する仕組みとしていくことを勧めたい。

○BCPに沿って的確な対応ができるよう検証し、確実な安全確保のための準備をしていただきたい

BCPは感染症と非常時対策について作成済みであり、事務所に掲示し、非常勤職員も含め全職員で研修動画の視聴をしている。今後は細かな改定などでブラッシュアップすることが予定されているが、実際に大規模災害等が起きた時に円滑に行動・対応ができるかが大切であるため、机上・実地等で検証をして、的確な行動により確実に利用者の安全確保ができるよう準備を整えていただきたい。

⑤第三者評価結果に対する事業者のコメント

私たちのグループの基本方針である「家族的生活の実現」を評価していただいたことを大変うれしく思います。今後も利用者さんの気持ちや想いを大切にしたい支援を継続していきたいです。家族的生活の実現を行うためには人材育成や研修による知識や技術の習得は必要なことだと考えるため、更なる研修体制の強化に取り組み、掲示物の表現方法も利用者さんが理解しやすい方法を検討したいと思います。

⑥各評価項目にかかる第三者評価結果

別紙「評価細目の第三者評価結果」のとおり